

新型コロナウイルス感染症対策は

落合 良子（無所属）



新型コロナウイルス感染症の発生以降、地球は未曾有の危機を迎えている。学校の休校、外食店の自粛休業、不要不急の外出禁止、自粛などで市民の暮らしは一変した。「住みたくなくなるまち、住んで良かったまち菊川市」を持続向上させるための新型コロナウイルス感染症対策の考えを伺う。

Q 解雇や売上不振で収入が途絶え、家賃が払えなくなった市民の方々へ、市営住宅入居の無償、または低額での賃貸の考えは。

A 市営住宅の入居基準を満たさない場合でも原則一年間、低額な家賃で入居が可能。相談に対応していく。

Q 菊川病院において、コロナ受診相談等のコールセンターの設置、早期に診断できる検査体制の構築、重症化の防止対策の状況は。

A コロナに限定した相談窓口は設置していないが、感染管理認定看護師長と外来看護師長を中心に対応。疑われるケースは県の相談センターを案内し、感染拡大を防ぐ役割を担っている。感染で重症化しやすい高齢者や糖尿病、心不

全患者に対しては外来受診間隔を延ばし、医師が妥当と判断した場合の電話診察体制を構築した。

Q 小中学生の授業の遅れを取り戻すため、授業サポーターとして退職教師等の活用を図る考えは。

A 臨時休校によってできなかった授業は夏休みの短縮、日課の見直しで予定した授業内容を終える見込みである。支援員の任用は幅広く地域の人材を発掘、活用していきたい。

Q 感染、重症化リスクが高くなる喫煙について禁煙対策は。

A 肺、気管支、全身に害を及ぼす原因とも言われている。菊川すこやかプラン中間評価における、たばこに関する課題についても策を打っていききたい。

毎日の感染症対策



手洗い うがい マスク

浜岡原発再稼働について

横山 隆一（日本共産党）



浜岡原発再稼働につき、新聞紙上で31km圏内（UPZ）の11市町に対しアンケート調査が実施された。

Q 御前崎市長は「意見集約は県・再稼働の判断は立地市のみ」と回答した。これまで市長は「再稼働は、4市対協で判断するもの」と答弁しているが見解に相違はないか。

A 現在ははまだ、議論する段階ではないが、これまでの歴史と経緯をふまえ、本市が含まれる4市以上が望ましいと考えている。

Q 静岡県知事は「再稼働出来る状況にないという認識に変わりはない」と発言した。県の原子力施策をどう評価するか。

A 県は、広域避難計画の調整など防災対策と取り組んでいる。更に実効性向上に尽力すべきとの思いから「どちらとも言えない」と回答した。

Q 再稼働は、市民アンケート調査結果に基づき判断すべきではないか。

A 「市民の皆様のお考えを把握した上で」、議会で充分な検討をいただき判断する。

Q 中電から20年度中の計画になった「新燃料を搬入する」という報道があった。安全協定通報措置要領に違反していないか。

A 通報措置要領では「2週間前までに通報するよう」定められおり、まだ搬入はされていないが、今後協定に基づく通報があると認識している。

他に「生活困窮者支援」、「徹底した事業の見直し」について質問しました。

再稼働
い・か・に・..

